

〔救急部門 ER 研修〕 東京都立墨東病院での研修（3ヶ月間）

1. 研修内容

東京都立墨東病院での ER 研修では、ER 受診患者が多く、また重症度が比較的高いため救急疾患の鑑別診断、初期治療に習熟することができる。また急性薬物中毒などの特殊な疾患に対しての初期治療と対応が可能になる。

2. 一般目標

全ての医師に必要な救急処置の基本的な知識・技能・態度を獲得する研修の一環として、救急患者の初期評価と初期治療および接遇を修得する。

3. 行動目標

- (1) 救急患者の身体所見を的確にとり、適切な鑑別診断を挙げることができる。
- (2) 基本的な救急処置、検査や治療手技を安全かつ確実に行えるスキルを身につける
- (3) 救急患者および家族の不安に配慮した対応と説明ができるようになる。
- (4) パラメディカルと協力して診療をスムーズに行えるような態度を身につける
- (5) 専門医への適切なコンサルテーションができるようになる。

4. 研修目標

- (1) 経験した方がよい主要疾患
東部地域病院研修内容チェック表参照
(①経験すべき症状・病態・疾患 ②経験が求められる疾患・病態)
- (2) 研修すべき主な診断・検査法
東部地域病院研修内容チェック表参照
(7. 臨床検査)
- (3) 研修すべき手技・治療法
東部地域病院研修内容チェック表参照
(8. 基本的手技、9. 基本的治療法、13. 救急医療)
- (4) ER 受診患者・家族に対する真摯な態度を修得する。
- (5) 救急におけるインフォームドコンセントの特殊性を理解し修得する。